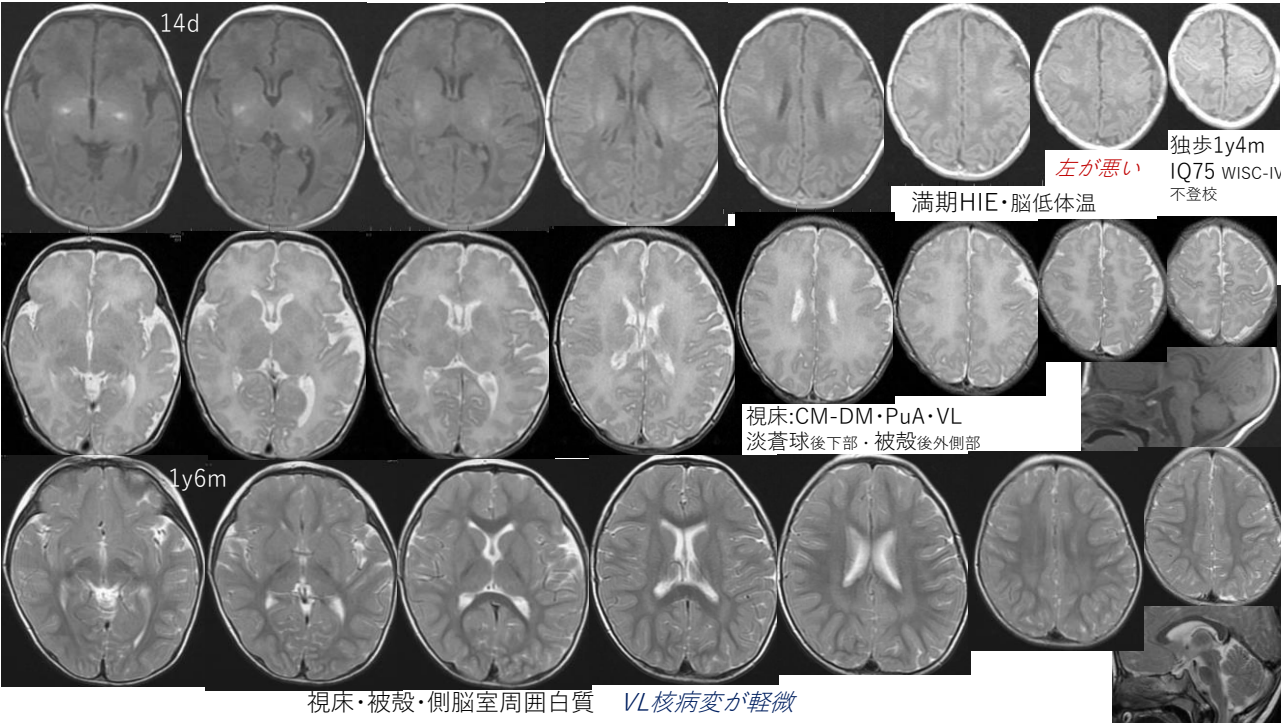
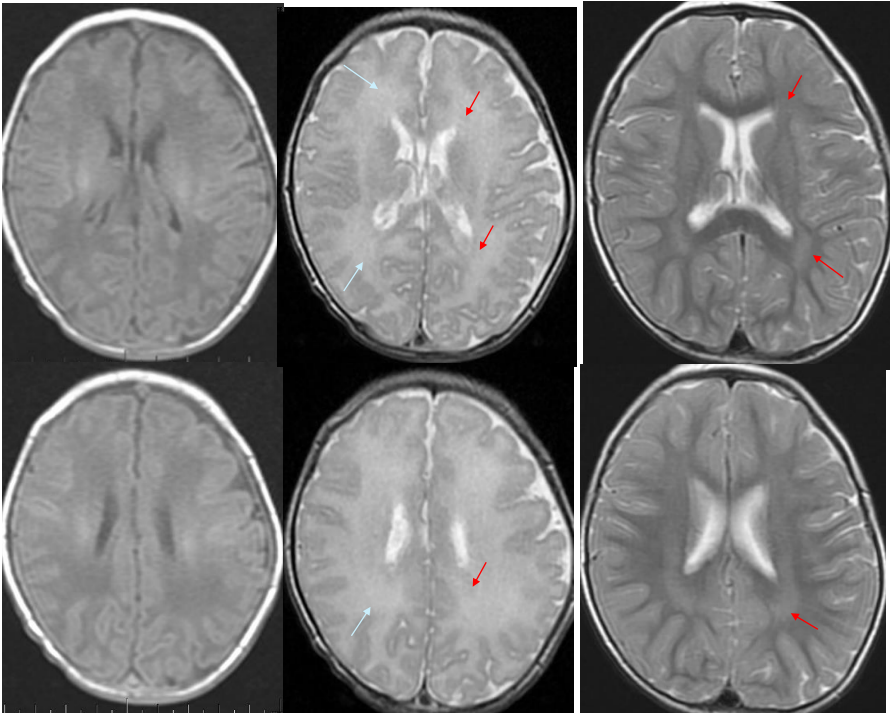




1



2



← Periventricular crossroads
 T2高信号の低信号化
 ← Periventricular crossroads
 辺縁のT2高信号は保持

3



4

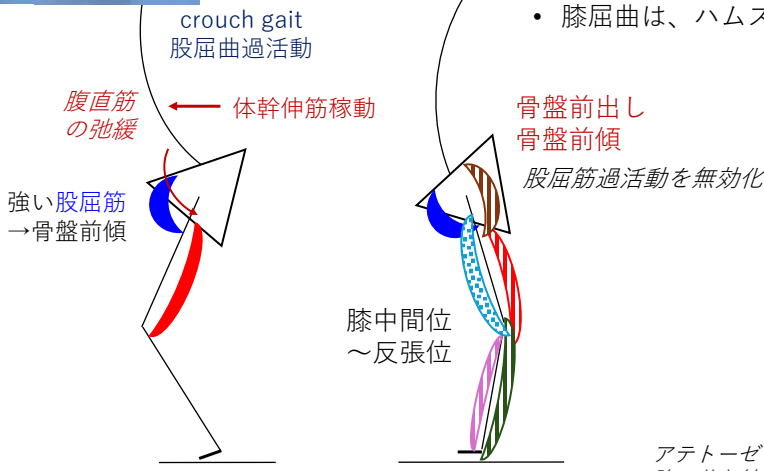


5



膝反張となる

下肢関節は共収縮で無動化
 ・ ハムストリングは伸張無力化し、膝屈曲不能
 ・ 膝屈曲は、ハムストリングの抑制がなく、寡少



- 常時筋収縮状態
 ● 股屈曲過活動
 □ 伸展荷重制限
- 他動的伸張筋 働きにくい
 股伸筋（大殿筋） □
 ハムストリング ●
 足底屈筋（腓腹筋） □
 足背屈筋（前脛骨筋） ●
 他動的短縮筋
 膝伸筋（大腿直筋） □

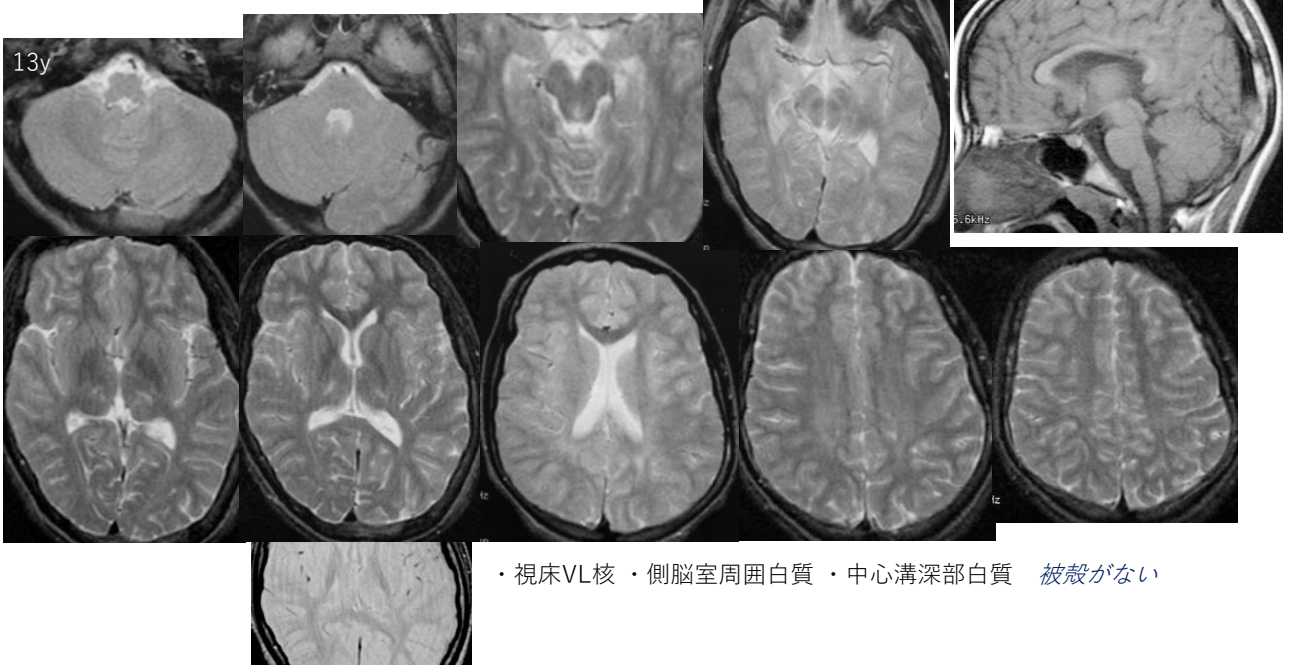
アテトーゼ=固定しない(ギリシャ語)はmisnomer
 強い共収縮(固定)→これに打ち勝つ過剰運動(非固定)

6

・満期 HIE ・独歩 8y11m (非実用) ・軽度ID

左が悪い

13y



・視床VL核 ・側脳室周囲白質 ・中心溝深部白質 被殻がない

7

4m



左が悪い

- ・肩先後退
- ・肩伸展
- ・股屈曲

右(軽症)の方が ・上肢側方に伸ばしやすい ・下肢伸展しやすい

上肢前出しができない

8



9



10



2y7m

肘伸展位で腕をぶん回し
苦労して手を出す



両手持ち上げ感え
後方荷重で踏みしめ



左が悪い



頭支えの四つ這い位
膝荷重の股屈伸できず
右肩基点のの背這い



- ・ 頸が不自然に固まってから動く
目と頸の動きがおかしい
- ・ 息んで、ゆっくり、大きな声で、しゃべる。口も不自然に固まってから動く

Athetosegefühl

腕をぶん回して手を出す
右手は肘が曲がって前に出る
左手は肘が伸びたまま前に出ない

11



4y2m

回転ハイハイ
右手の方が前出し大で、右方の回転が大



膝反張となる 左>右



骨盤座布団の座位
骨盤後傾・円背

両肩先前出し
両上肢同時水平内転

両下肢：屈曲常時筋収縮と
伸展屈曲常時筋収縮の共存
右の方が伸びやすい



Athetosegefühl

12

5y1m



13



14



・左膝は反張~寡少屈曲 ・右膝は屈曲で少し動く ・骨盤回旋でわずかに進む ・着地時動揺（股屈曲・骨盤前出し）



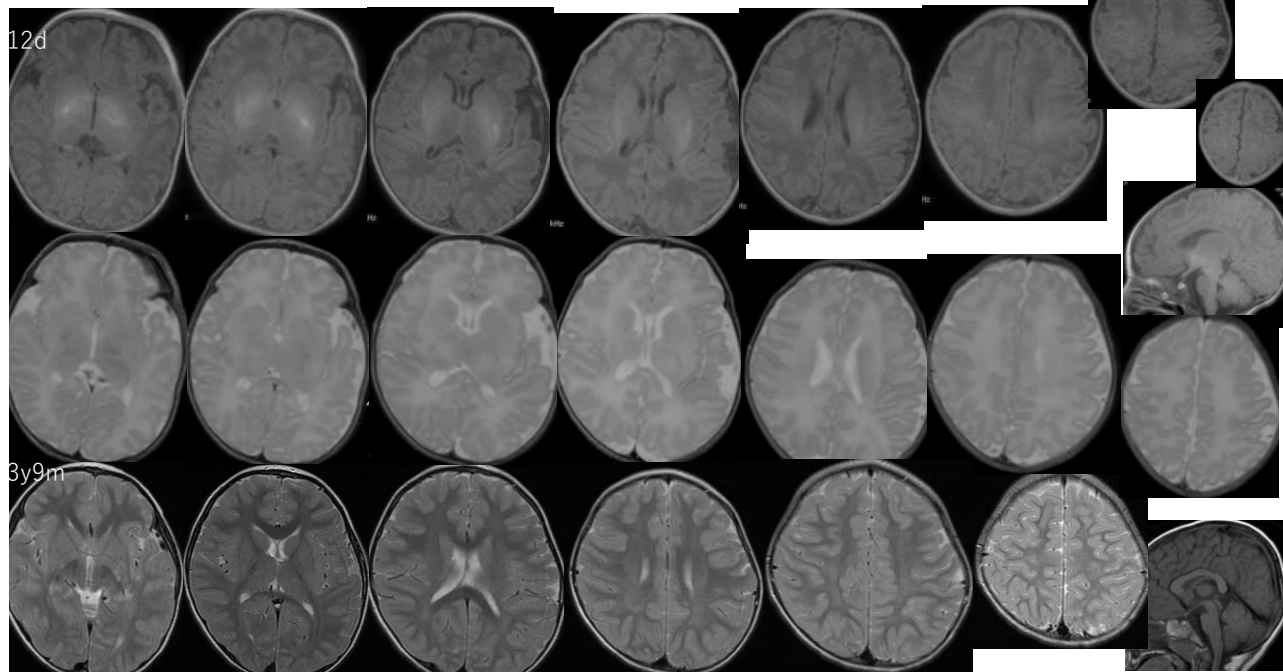
15



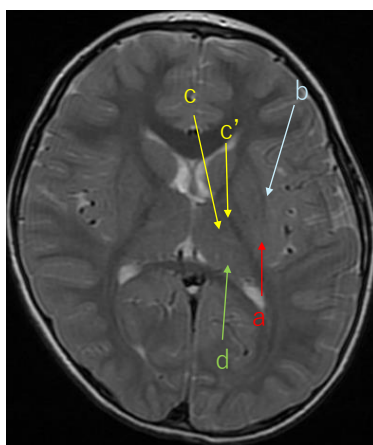
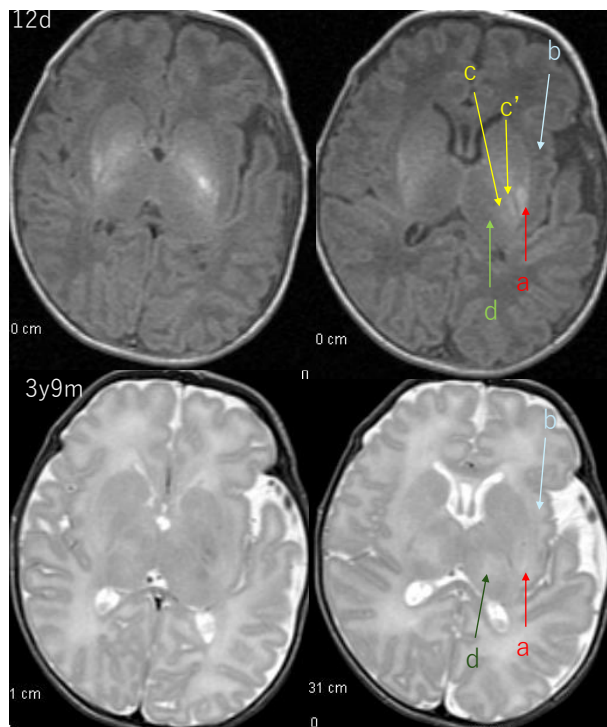
16

・満期HIE ・独歩1y11m ・知的障害はなし

右が悪い



17

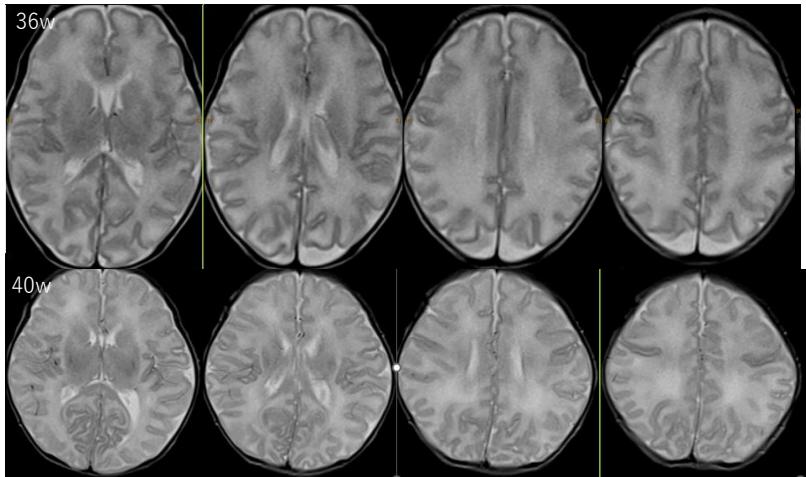


a : 被殻外側縁より内側に広がる T1高・T2高+低
 b : 被殻と島皮質中間白質は広がる T1低・T2高
 c・c' : VL核後内側縁(c)・後外側縁(c') T1高・T2高
 d : VPL・VPM・PuA・CM~DM T1低・T2高
 *新生児期の淡蒼球MR病変は幼児期ではほぼ消える

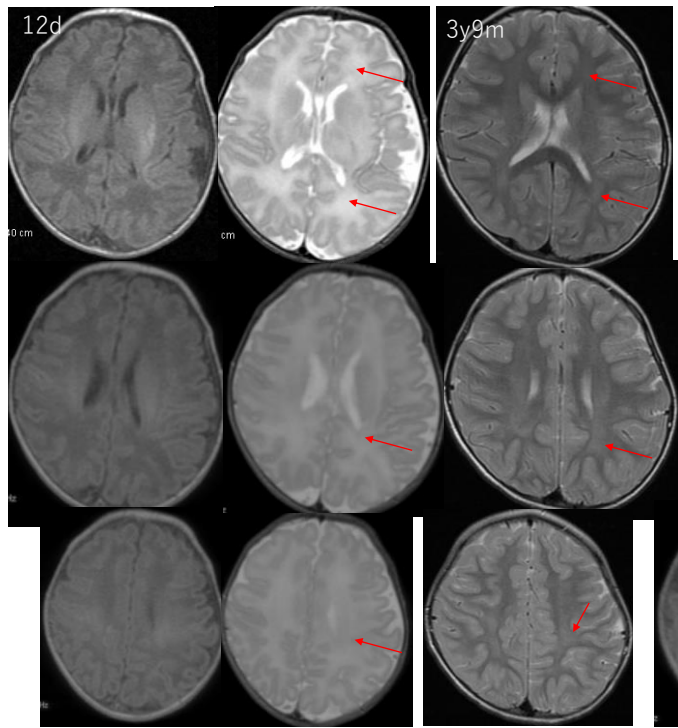
18

満期白質区分

- | | | |
|----|----------------------------|-----------------------------|
| 1 | 側脳室壁とその隣接部 | T2低信号 |
| 2 | Callosal fibers | T2高信号 |
| 3 | Sagittal strata | T2低信号 |
| 4 | Periventricular crossroads | T2強高信号 |
| 5 | 前方後方深部白質 | T2高信号 *4の側方 |
| 5' | 中心部深部白質 | T2低信号 *中心溝前後の皮質連絡髄鞘化線維 |
| 6 | 脳回深部・頂部白質 | T2高信号 *髄鞘化皮質関連またはsubplate遺残 |
| 6' | 脳回浅部白質 | T2低信号 *subplate |

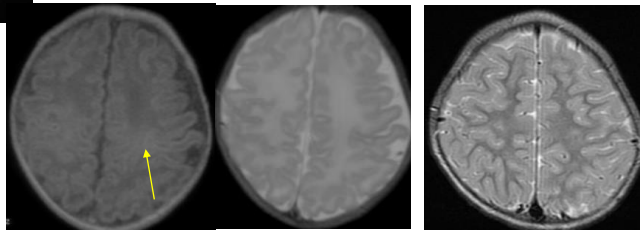


19



満期白質区分

- | | | |
|----|----------------------------|--|
| 4 | Periventricular crossroads | 側脳室側のT2高信号が減弱
脳表側は保たれている |
| 5' | 中心部深部白質 | 中心溝深部白質はT2低信号・T1高信号 *中心溝皮質谷部にT1高信号 (cortical highlighting)あり |



20



21



22



右が悪い



両手前出し正中合わせに伴い、股膝体幹頸の伸展が入り、過開口となる
→緩んで、頭部頸椎の屈曲が入る

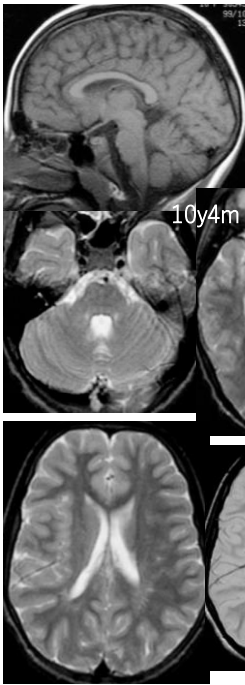
水平外転筋の強い常時収縮



23



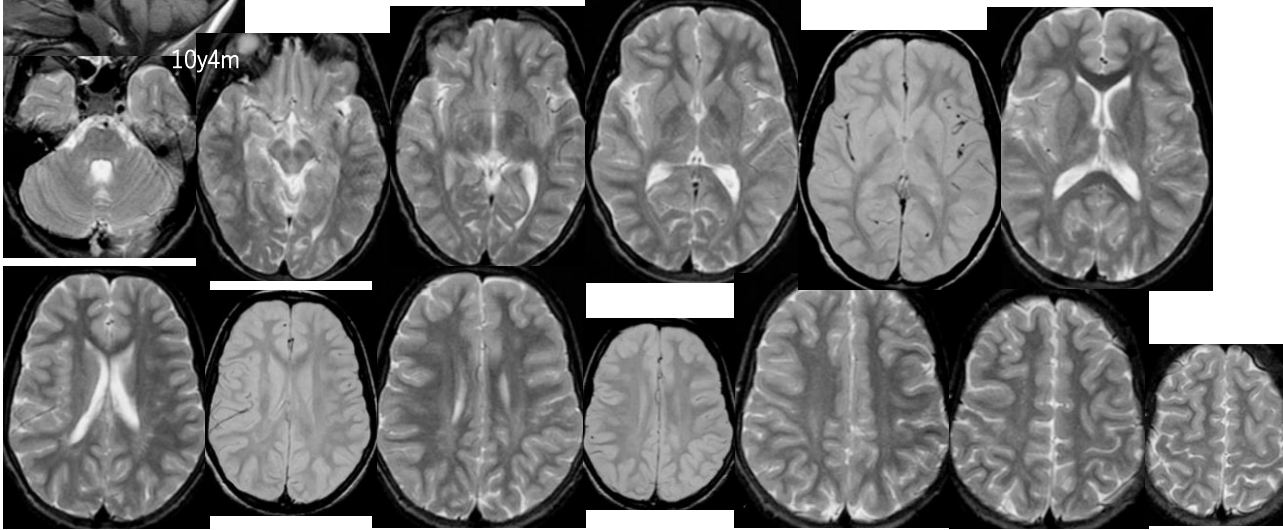
24



・満期HIE ・独歩 2y2m ・中等度ID

左が悪い

視床VL核・pulvinar・被殻(右>左)・側脳室周囲病変



25



26



- ・肘支持ができず、腕を内にたたみ、肩支持する
- ・強い股屈曲で寝返り時も緩まず

27



28



股伸展負荷後の虚脱 瞬発的股屈曲

29



30



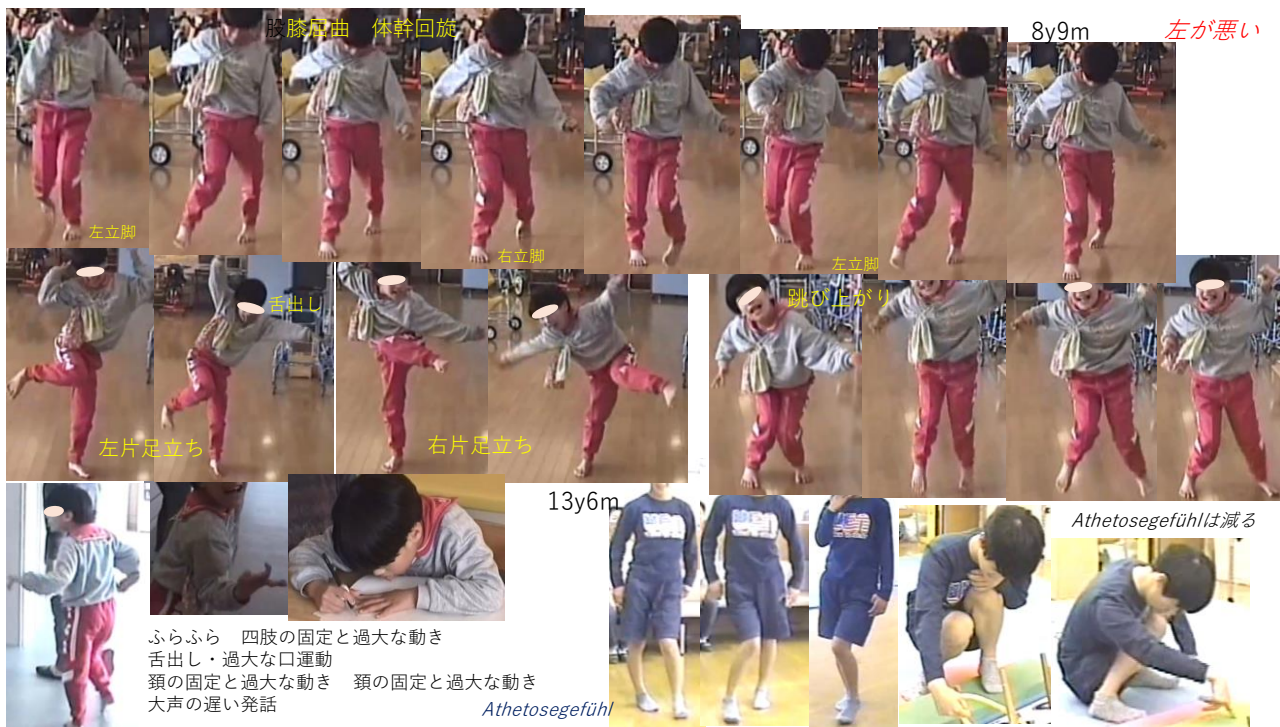
31



32



33



34